

# 「共済総研レポート」200号の軌跡

# ―101号から200号にかけて―



本誌は、創刊号の発行された1992年 5 月30日から現在に至るまで、30年以上発行を続けています。 2008年12月に発行した第100号では、創刊号から第100号までの主な出来事や掲載内容を振り返りました。本稿では、第101号から今日までの17年間(2009年~2025年)を振り返ります。

## Ⅰ. 第101号~第125号:2009年~2012年の主な出来事

2009:新型インフルエンザ流行/平成21年7月21日豪雨/裁判員裁判の初公判/消費者庁発足/事業仕分け

2010:日本年金機構設立/保険法施行/口蹄疫流行/はやぶさ帰還/欧州危機

2011: 東日本大震災/東電福島第一原発事故/なでしこジャパンW杯優勝/平成23年7月新潟・福島豪雨

2012:2012国際協同組合年/復興庁発足/熊本広域大水害/社会保障・税一体改革関連法成立

## 環境分野の調査研究

本誌第100号以前から環境問題等に関連した調査研究を行っていましたが、本誌第105号(2009年10月)から環境分野を設定し、従来分野から独立してレポートを掲載することにしました。



#### Ⅱ. 第126号~第149号:2013年~2016年の主な出来事

2013: 当研究所の名称を「一般社団法人 J A 共済総合研究所」に変更/「介護共済」開始/異次元緩和の導入/マイナンバー法成立/日本のTPP参加

2014: NISA開始/ウクライナ危機/STAP細胞論文改ざん/消費税率8%/広島豪雨災害/御嶽山噴火

2015:口永良部島噴火/ギリシャ金融危機/建築物省エネ法成立/鬼怒川水害/「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択/スポーツ庁・防衛装備庁発足/マイナンバー制度開始/パリ協定採択

2016:マイナス金利導入/日本のTPP署名/改正農協法施行/パナマ文書/熊本地震/伊勢志摩サミット/技 能実習法成立

#### 連載形式でのレポート掲載

東日本大震災からの復旧・復興等、様々なテーマで レポートを連載しました。一部の連載については、 『共済総研レポート別冊』として取りまとめました。

●『震災復興現地レポート』

(第126号~第174号/全24回)

●『海外の医療から日本の医療を考える』 (第128号~第137号/全10回)

●『賀川豊彦とJA共済の軌跡』

(第152号~第155号/全4回) 等





震災復興現地レポート 第1回レポート(左)と別冊表紙(右)

## Ⅲ. 第150号~第179号:2017年~2021年の主な出来事

2017: 平成29年7月九州北部豪雨/日本人初の100m9秒台

2018:「生活障害共済」開始/働き方改革関連法成立/西日本豪雨/北海道胆振東部地震

2019:全国国民年金基金設立/出入国在留管理庁発足/新元号「令和」に改元/令和元年房総半島台風/消費 税率10%・軽減税率/令和元年東日本台風/首里城火災

2020:「特定重度疾病共済」開始/英国のEU離脱/新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行/熊本豪雨/はやぶさ2帰還

2021:「げんきなカラダプロジェクト」開始/東京オリンピック・パラリンピック開催/デジタル庁発足/国際課税ルール合意

## 「共済総研フラッシュ」創設

よりタイムリーな情報提供を行うため、当研究所HP上において、2017年6月より「経済・金融フラッシュ」として経済・金融分野のレポート掲載を始めました。その後、「共済総研フラッシュ」に名称を変更し、引き続き時勢に合わせた情報提供に努めています。



#### Ⅳ. 第180号~第200号:2022年~2025年の主な出来事

2022:「認知症共済」「農業者賠償責任共済」開始/ロシアのウクライナ侵攻/闇バイト強盗/安倍元首相銃撃事件/エリザベス女王逝去/ChatGPT

2023:「あんしんくらしプロジェクト」開始/こども家庭庁発足/広島サミット/「こども未来戦略方針」閣議決定

2024: 能登半島地震/異次元緩和の終了/育成就労法成立/新札登場

2025 (1月~8月): 2025国際協同組合年/トランプ関税/大阪・関西万博

#### 調査研究発展に伴う誌面構成の見直し

本誌第43号から分野別に記事の掲載を行っていましたが、従来分野に該当しない調査研究や複数分野にまたがる調査研究に柔軟に対応するため、本誌第180号(2022年4月)から分野を明示しない誌面構成に変更しました。

# 共済総研レポート 表紙デザインの変遷

第200号という節目を迎えるにあたり、本誌の表紙デザインを変更しました。第7代目にあたる今回は、グリーンを基調としたデザインにしています。

第100号 (第4代目) から前号まで の表紙デザインを掲載しましたの で、その変遷をご覧ください。





